



長崎県対馬市厳原町中村532-12  
 合資会社 対馬新聞社  
 郵便番号817-0013  
 電話0920-52-0235  
 FAX0920-52-7580  
 発行人 多田直樹  
 月4回毎週金曜日発行  
 印刷(資) 厳原印刷所  
 月額1,050円  
 振替口座 郵01750-4-33895  
 十八銀行対馬支店 ⑤010040  
 親和銀行対馬支店 ⑤024600  
 西日本シティ銀行対馬支店 ⑤699197

郷土一の銘酒  
**白紋**  
 蔵  
 美津島町  
 河内酒造会社

# 対馬を世界にアピール 知られざる国境の島「対馬」DVDを製作

## 上対馬町で試写会

8月11日、北海道大学グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成／スラブ・ユーラシアと世界」の事業成果を報告する『国境を紡ぐ』世界のなかの対馬』が、上対馬総合センターで開催され、岩下明裕北海道大学スラブ研究センター「教授が『上対馬から世界へ』をテーマにした講演と、DVD「知られざる国境の島・対馬」の試写会が行われた。



上対馬町で講演会

**境界地域研究ネットワークJAPAN**  
 国境隣接地域を抱える自治体は、日本と隣国の二国間関係を左右されながら、経済振興(離島振興・過疎防止)と国境管理(領土問題)の狭間で、様々な政策的・実務的課題を持つ。しかしながら、これら課題は中央政府に届いていないばかりか、各境界自治体は、類似した問題に直面しているにも関わらず、経験や情報の共有等、横の連携が図られていない状況。

世界には、研究者と実務家が共同で境界地

域問題(ポスター・スライド)を研究する場があるのに対し、日本や東アジア、ユーラシアにはないことから、日本における研究者(境界地域研究者ネットワーク)が、自治体や省庁関係者等、実務家間の議論の場を作り、境界地域研究ネットワークJAPANを立ち上げ、更に世界の境界地域研究との連携を目指すもの。DVD「知られざる国境の島「対馬」」

で、対馬を知ってもらおう。英語版もあり、対馬を世界にアピールしてほしい。」と話した。

**上対馬から世界へ**  
 岩下教授は「これからは実務家と学者が一緒にあって、特区構想を含む地域振興について、知恵を出し合い、その地域にあったものを具体化していったものをネットワーク作りを行う(11月予定)」。また、来年は福岡市と釜山市間のネットワーク。両国で行うイベントの途中、福岡から釜山への移動は直接ではなく、厳原に入っ

あることを明らかにした。岩下教授は「欧米の研究者が多いことから、世界の中で対馬を位置づけることができる」と話した。

**DVDをエトビリカ文庫に寄贈**  
 DVDは上映会の後、対馬市、公民館、つしま図書館内のエトビリカ文庫等に寄贈し、市民の方々にも利用してもらえるようにする予定。

一定。岩下教授は、同DVDを「対馬を日本のみならず世界にアピールする材料として皆さんにご利用いただければ光栄です」と話している。エトビリカ文庫は、昨年の対馬フォーラムを記念し、日本国内の境界地域をつなぐ情報・資料交換のネットワークの一環として開設されたもの。

対馬の人口(7月末現在)  
 34,921 (前月比3人減)  
 (前年比735人減)

厳原町	12,801人
美津島町	7,995人
豊玉町	3,808人
峰町	2,355人
上県町	3,614人
上対馬町	4,348人